

赤磐市の生物多様性地域活性化活動

赤磐市は南北に長く、南部と北部の地質が異なり植生自然度も大きく異なる生物多様性に富んだ地域です。この地域に、持続可能な生物多様性に富んだ自然があることを検証し、この検証過程及び結果を通じて「赤磐市の街づくり」に貢献することを目的として、2015年6月、波田善夫岡山理科大学学長（当時）を委員長として赤磐市野生動植物調査会が立ち上がりました。

本会では「赤磐市は自然・文化・産業が調和している素晴らしい住みよい地域である」と実感できる都市への努力指針に基づき、生物多様性調査を通じて地域の特性をあぶり出し、持続可能な生態系の利用に関する施策の総合的立案と地域産業振興に役立つ方針を策定しました。

まず、3年計画で「赤磐市の街づくり」に貢献するための生物多様性地域戦略の基礎となる「赤磐市生物目録」を作成しました。同時進行で未来を担う人材を育成する為に講演会、自然観察会などの普及啓発活動を実施しました。次の3年間で、自然度の高い12箇所のホットスポットを選定、市民参加型の調査、自然観察会を実施して生物相に関する知見を充実させました。

以上の成果を基に、2022年度から、

- ① 地域性を活かした農業、工業、商業、観光の効率性・適切性を探る。
- ② 地球温暖化と動植物や農産物生産環境の変化などに対応してゼロカーボン都市の実現を図る。
- ③ 持続可能な開発目標（SDGs）達成のために、自然と人間の共生をとおして自然環境を守り育てる人材育成に役立つ。

という目標を掲げて、さらに精力的に活動しています。

主な活動主体	赤磐市野生動植物調査会 赤磐市環境課
保護動植物の位置付け	岡山県版レッドデータブック 2020 絶滅危惧Ⅰ類：絶滅危惧Ⅱ類：準絶滅危惧種

活動状況（写真提供：赤磐市野生動植物調査会）



水辺教室



シンポジウム
赤磐市の自然を考える



「岡山三大河川流域啓発リレー」に協賛



樹木図鑑を作る